

# 「信州学び円卓会議（仮称）」について

県民の学び支援課

## 1 設置目的

変化が激しく先行不透明な時代にあって、これまでの一律一様の学びから児童生徒一人ひとりのニーズ、個性、認知・発達特性に応じた「個別最適な学びへの転換」が求められている。

一方、地方教育行政においては人事や予算などの権限が分散しているため、「個別最適な学び」の実現に向けては様々な関係者との対話や連携した取り組みが必要とされる。

こうしたことから、幅広い関係者が一堂に会し議論を重ね、それぞれの主体における取り組みにつなげていく。

## 2 テーマ 「長野県の子どもたちにとって最適な学びのあり方」

子どもたちにとって、学びの選択肢の充実や個別最適な学びを実現するために、何が必要か。そのために必要な仕組み、制度、教職員等の Well-being などを含めて幅広く検討する。

## 3 構成メンバー等

- ・県内で先進的に取り組んでいる学校関係者、教育実践者、市町村や有識者等 15 名程度で構成
- ・メンバーとは別に有識者や実践者等のアドバイザーや話題提供者を想定

## 4 スケジュール

- ・今年度は複数回の会議を開催予定、翌年度以降も継続して検討
- ・会議と並行して生徒、教職員、保護者等や関心のある県民との意見交換を行い、県全体の機運醸成に繋げる。

年度	検討内容（想定）
5 年度	<b>&lt;課題の整理、ありたい姿の共有&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストスピーカーによる話題提供</li> <li>・本県の学びを取り巻く現状・課題の認識</li> <li>・メンバー各自のありたい理想の姿を提示し、検討の方向性を確認</li> </ul>
	<b>&lt;県民との意見交換&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、先生、保護者等と意見交換</li> </ul>
6 年度以降	<b>&lt;ありたい姿の実現に向けた方策の検討&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の進捗を踏まえて検討予定 等</li> </ul>
	<b>&lt;県民との意見交換&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール、私学等関係者等と意見交換</li> </ul>

## 5 政策等の反映に向けた考え方

- ・会議における意見、議論等に関して、すぐに取り組めるものは各主体で検討を行い、施策に繋げる。
- ・協議検討が必要なものは「総合教育会議」、「県と市町村との総合教育懇談会」、「県と市町村との協議の場」等において具体的な検討を促す。
- ・国等に要望する必要があるものについては、県・市町村と連携して要望していく。